

支援教育では、学習意欲をはぐくむために「具体的な教材を用いてのイメージの概念化」をすることが大切だとしています。そして、具体的な教材を使った授業例を、小学部1年から高等部3年まで写真をまじえながら紹介されて、わかりやすい内容となっています。

☆「知的障害特別支援学校のICTを活用した授業づくり」

全国特別支援学校知的障害教育校長会 編著、ジアース教育新社

知的障がい支援学校においてICT活用を広めるためのポイントとして、①普段使いの機器として使う②部分的に使うことから考える③良い実践事例を真似てみることを挙げています。そして、全国の39事例が紹介されています。

☆「肢体不自由特別支援学校における重度・重複障害児のコミュニケーション学習の実態把握と学習支援」小池 敏英・雲井 未歎・吉田 友紀 編著、ジアース教育新社

重度の知的障がいと運動障がいを併せ有する子どもたちの実態把握の難しさに注目し、「音声言語理解の前段階の認知発達」の実態把握では、「注意」「期待」「大人への積極性」の側面を把握することが大切としています。そのために「学習把握表」の活用例とポイントを紹介しています。

★☆☆

きらら通信 大阪府教育センターメールマガジン 第38号（令和2年3月2日発行）

編集担当：人権教育研究室 [mailto:osaka_center@gbox.pref.osaka.lg.jp]

★☆☆